

11月 図書館だよ



行事のお知らせ

萌えの子おはなし会

- ◆11月 4日(土)午後2時から
おはなしする本:「わんぱくだんのバスごっこ」ほか
- ◆11月18日(土)午後2時から
おはなしする本:「風の星」ほか

※ いずれも、場所と入場料は次のとおりです。
◆場所 市立図書館1階 黒川子ども文庫
◆入場料 無料

子ども映画会/映画鑑賞会

- ◆11月11日(土)午前11時から
【上映(予定)作品】
「宇宙のひみつがわかるえほん」
「どんぐり森へ」
～ひとりのひとつのたからもの～
(2作品:上映時間39分)
- ◆11月19日(日)午後2時から
【上映(予定)作品】
「イーちゃんの白い杖」
(2018年/日本、上映時間1時間48分)
監督:橋本真理子、語り:春風亭昇太
【内容】小長谷唯織(こながや いおり)さん・イーちゃんは、静岡の盲学校で学び、中学からは東京の盲学校へ。しかし、いじめを経験する。夢も破れ、何もかも嫌になった。でも、そばにはいつも2歳年下の弟・息吹がいた。重度の障がいでは、食事でも歩くこともトイレにも行けない、手術を何度受けても前に進む弟。私たちはなぜ生まれてきたのか、20年間の心の記録。

※ いずれも、場所と入場料は次のとおりです。
◆場所 市立図書館2階 視聴覚室
◆入場料 無料

古本市

- ◆とき 11月 5日(日)午前9時から
- ◆雨天の場合 11月12日(日)に順延
- ◆場所 市立図書館正面玄関前(駐輪場付近)
- ◆配布冊数 1人5冊以内



11月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■は休館日です。
※3日(金)、23日(木)は祝日開館日です。
※30日(木)は月末整理日のため休館します。
☺は行事開催日です。
◆開館時間のお知らせ
平日:午前9時～午後8時
※閉館時刻を変更する場合があります
土曜、日曜、祝日:午前9時～午後5時

郷土史講座のご案内

- 市立図書館・金島公民館共催事業 -

『天明泥流はどう流れたのか』

- 渋川市域を中心に -

- ◆11月18日(土)午後1時30分から
(午後1時受付開始)
- ◆場所 金島ふれあいセンター ホール
- ◆定員 100人
- ◆講師 関 俊明さん
(郷土郷土資料館 館長)
- 絵図解説:唐澤 保之さん(渋川市在住)
- ◆参加料 無料
- ◆申込み先 金島公民館(TEL:22-0241)



新着DVDのご案内

新着DVDをご紹介します。
なお、貸出しは一人2枚までです。

<一般向け>

- ・蒲田行進曲 ・燃えよドラゴン ・ベスト・キッド
- ・酔拳 ・大停電の夜に ・すべては君に逢えたから

おすすめの児童書



◆「ニットやさんのムームー」
タカハシカオリ/作 (こぐま社)
ムームーさんは、旅するニット屋さん。いろんな場所で、みんなのリクエストに応じて、素敵なニットをつくってくれます。
秋になって訪れた町で、ムームーさんは、病気で飛べなくなってしまった渡り鳥たちのために、お手伝いすることになりましたが…。
ホッと心があたたまると、静かでやさしい物語です。

おすすめの一般書



◆「ブラックバースディ」

麻加 朋(光文社)

すべての始まりは誕生日だった。「みんなで家族になりましょう」
新生児取り違えによって始まった、奇妙なシェア家族。悲劇を乗り越えたはずだったが、少しずつ日常は歪み出していた。
どことなく、なんとなく。隣人家族は何かを取り繕っているような気がして、目が離せなかった…。
原因は、予期せぬ殺人事件と、その驚くべき顛末にあった。彼らが平穏を取り戻すことは、不可能なように思えた。
最後まで気持ちが振り回され、その結末に言葉もでない…驚きです。



絵本を赤ちゃんへ

市立図書館では、赤ちゃんの頃から本に親しんで欲しい、読み聞かせを通して赤ちゃんと保護者が触れ合い、楽しいひとときを過ごしてもらいたい、そんな願いを込めて、6か月児健康相談時に絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントを行っています(ブックスタート事業)。

12月からの配布絵本

- 12月からプレゼントする絵本は、次の2冊です。
- ・「ごぶごぶ ごぼごぼ」
駒形克己/作、福音館書店/刊
- ・「あつぷっぷ」
中川ひろたか/文、村上康成/絵
ひかりのくに/刊



◆「ぼくたちはまだ出逢っていない」
八東澄子/作 (ポプラ社)
いじめに悩む中3の陸と、自分には居場所がないと感じる中2の美雨。
それぞれに自分のアイデンティティを探すなかで辿り着く、「漆」がつかない「ぼくたち」の出逢い。
京都を舞台に、伝統技法「金継ぎ」に彩られた、出逢いと修復の物語です。

◆「不便なコンビニ」

キム ホヨン(小学館)

16カ国で刊行、舞台化され映像化も進行中。2022年韓国最大のベストセラーにしてKヒーリング小説の傑作、ついに上陸！
ソウルの片隅でひっそりと息づく不便なコンビニ「ALWAYS」。記憶を失ったホームレスの店員とそこに集う人々の、笑いと涙の物語。
不便なコンビニのほずなのに、ここの人々には、なくてはならないコンビニ。私たちの近くにもこんなコンビニがあったらいいですね。店長のやさしさとホームレスの定員さんに心癒やされます。

2023年度上半期ベストリーダ

4月から9月までのベストリーダをご紹介します。気になる作品は、ぜひ、読んでみてください。なお、貸出し中の資料は、予約することができません。お気軽にカウンターまでお問合せください。

【一般書】

順位	資料名	著者名
1	汝、星のごとく	風良 ゆう
2	木挽町のあだ討ち	永井 紗耶子
3	教誨	柚月 裕子
4	ハヤブサ消防団	池井戸 潤
5	みんなが誤解している雑学	常識のウノ研究会
6	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾

【児童書】

順位	資料名	著者名
1	よるのぬいだに…	ポリー フェイバー
2	それでいい！ 給食室のいぬにち	磯 みゆき 大塚 榮生
3	ジュニア空想科学読本 25 化石のよび声がきこえる	柳田 理科雄 ヘレン ベッカー
4	うまれくるよ海のなか 秘密の大作戦！フードリンク どろぼうをつかまえる！	高久 至 オンジャリ Q. ラウフ
5	けんかのたね ほねほねザウルス 10	ラッセル・ホーランド ぐるーぶ・アンモナイト